

CGA7 高齢者総合機能評価：評価内容、成否、解釈、次のステップ

番号	CGA7 の質問	評価内容	正否と解釈	次へのステップ
①	<外来患者> 診察時に被験者の挨拶を待つ	意欲	正： 自分から進んで挨拶する 否： 意欲の低下	Vitality index
	<入院患者・施設入所者> 自ら定時に起床するか、もしくはリハビリへの積極性で判断		正： 自ら定時に起床する、またはリハビリその他の活動に積極的に参加する 否： 意欲の低下	
②	「これから言う言葉を繰り返して下さい (桜、猫、電車)」、 「あとでまた聞きますから覚えておいて下さい」	認知機能	正： 可能（できなければ④は省略） 否： 復唱ができない ⇒ 難聴、失語などがなければ中等度の認知症が疑われる	MMSE・HDS-R
③	<外来患者> 「ここまでどうやって来ましたか？」	手段的ADL	正： 自分でバス、電車、自家用車を使って移動できる 否： 付き添いが必要⇒虚弱か中等度の認知症が疑われる	IADL
	<入院患者・施設入所者> 「普段バスや電車、自家用車を使ってデパートやスーパーマーケットに出かけますか？」			
④	「先程覚えていただいた言葉を言って下さい」	認知機能	正： ヒントなしで全部正解。認知症の可能性は低い 否： 遅延再生(近時記憶)の障害⇒軽度の認知症が疑われる	MMSE・HDS-R
⑤	「お風呂は自分ひとりで入って、洗うのに手助けは要りませんか？」	基本的ADL	正： ⑥は、失禁なし、もしくは集尿器で自立。入浴と排泄が自立していれば他の基本的ADLも自立していることが多い 否： 入浴、排泄の両者がx⇒要介護状態の可能性が高い	Barthel index
⑥	「失礼ですが、トイレで失敗してしまうことはありませんか？」			
⑦	「自分が無力だと思いますか？」	情緒・気分	正： 無力と思わない 否： 無力だと思う⇒うつ傾向がある	GDS-15

出典：「健康長寿診療ハンドブック」（原典は日老医誌 2005; 42: 177-180。一部改変）